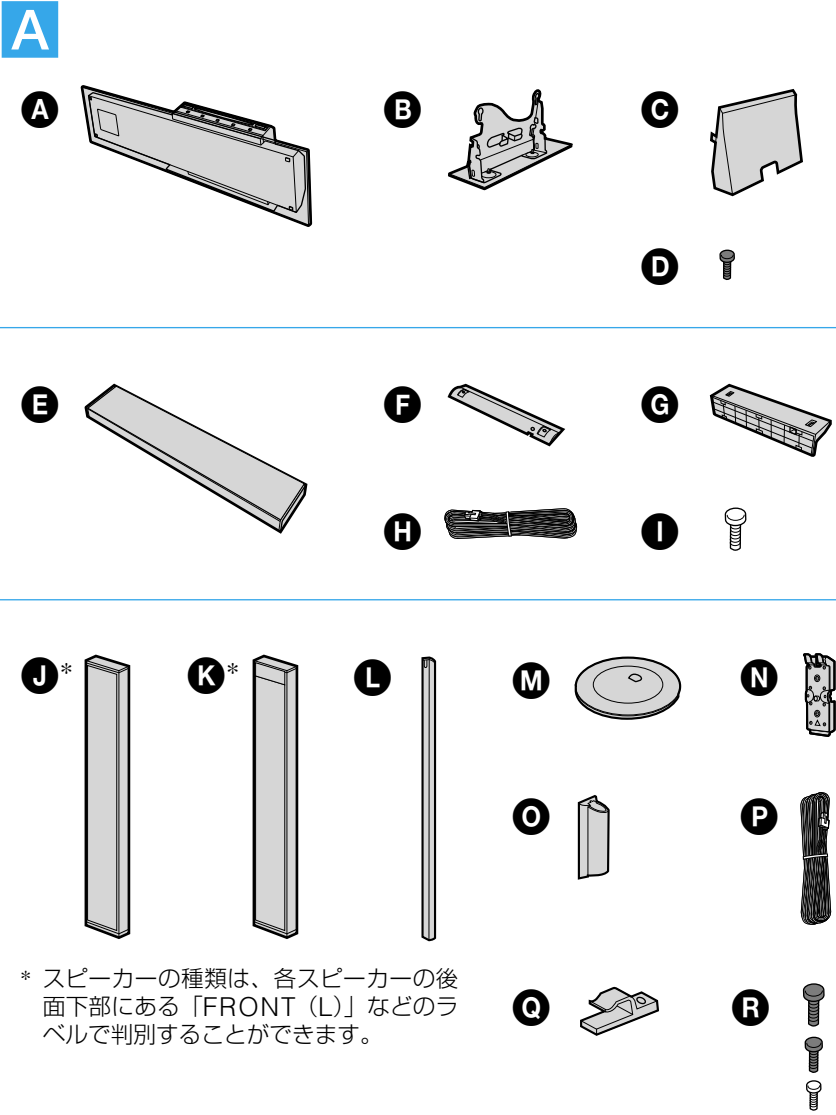


DAV-LF1H

クイックスタートガイド

このクイックスタートガイドの準備を行えば、本機をご使用できる状態になります。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

© 2006 Sony Corporation Printed in Malaysia



A 付属品を確認する

コントロールユニット用

- A** コントロールユニット (1)
- B** コントロールユニットスタンド (1)
- C** コントロールユニットスタンドカバー (1)
- D** ネジ (黒・小) (1)

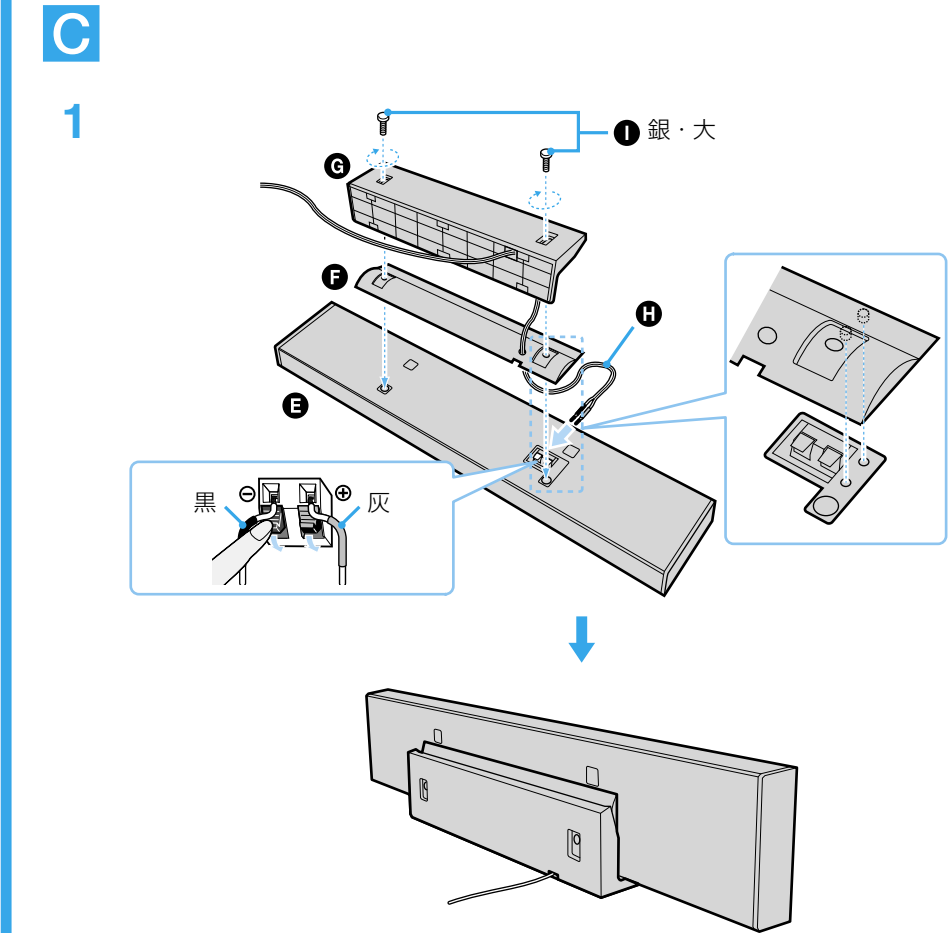
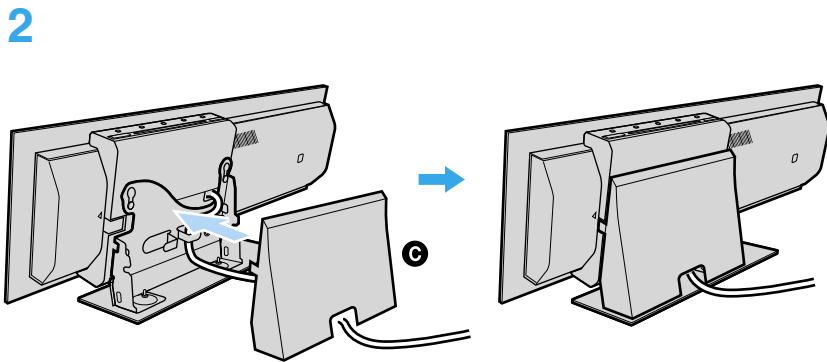
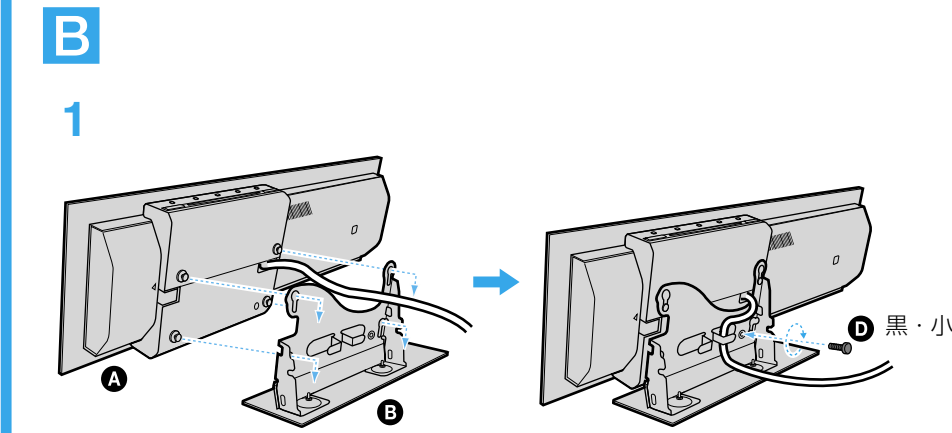
センタースピーカー用

- E** センタースピーカー (1)
- F** アジャスター (1)
- G** センタースピーカースタンド (1)
- H** スピーカーコード (1) (緑)
- I** ネジ (銀・大) (2)

フロントスピーカー、サラウンドスピーカー用

- J** フロントスピーカー L (左) / R (右) (2)、サラウンドスピーカー R (右) (1)
- K** サラウンドスピーカー L (左) (1)
- L** ポスト (4)
- M** スピーカー台 (4)
- N** スピーカーアダプター* (4)
- O** スピーカーアダプターカバー* (4)
- P** スピーカーコード (3) (白、赤、灰)
- Q** コード押さえ (1)
- R** ネジ (銀・小 (8)、黒・大 (12)、黒・中 (1))

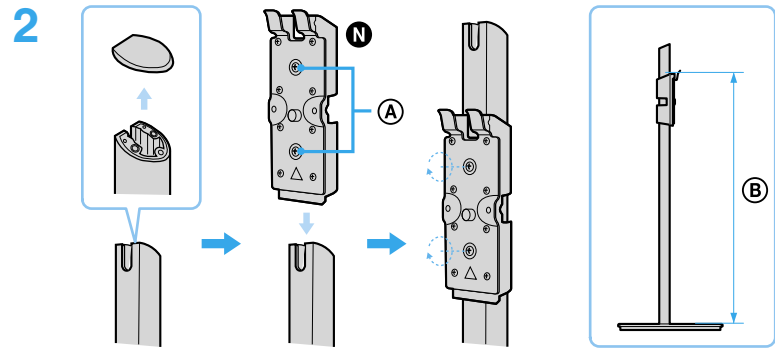
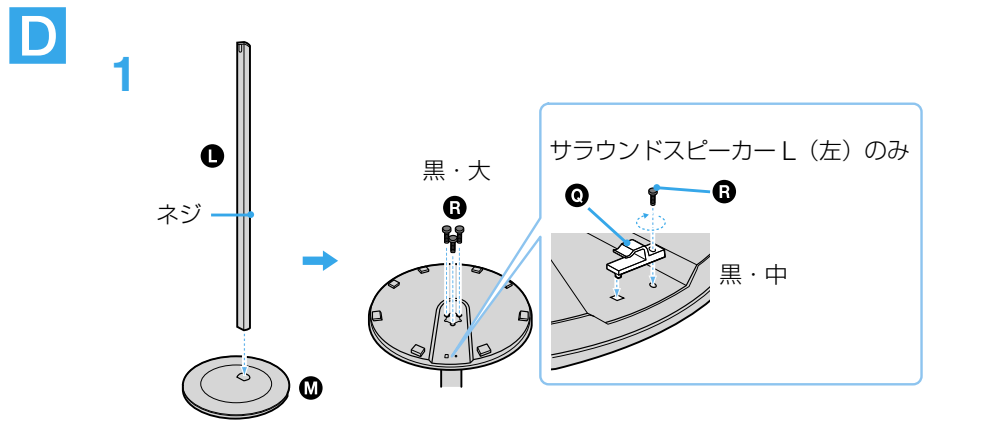
* 出荷時、スピーカーアダプターカバーは、スピーカーアダプターに取り付けられています。



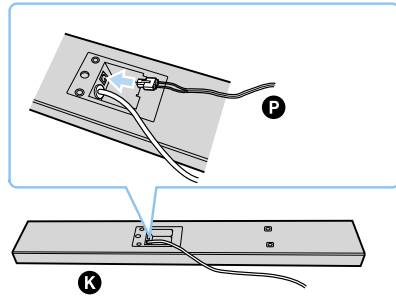
組み立て前に十字（プラス）ドライバーをご用意ください。

B コントロールユニットを組み立てる

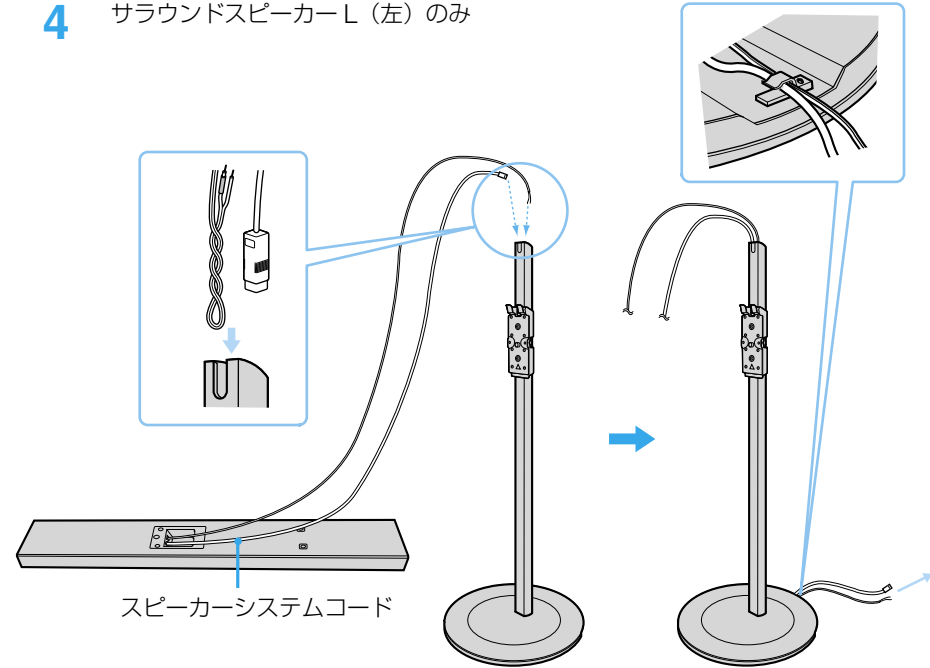
C センタースピーカーを組み立てる



3 サラウンドスピーカー L (左) のみ



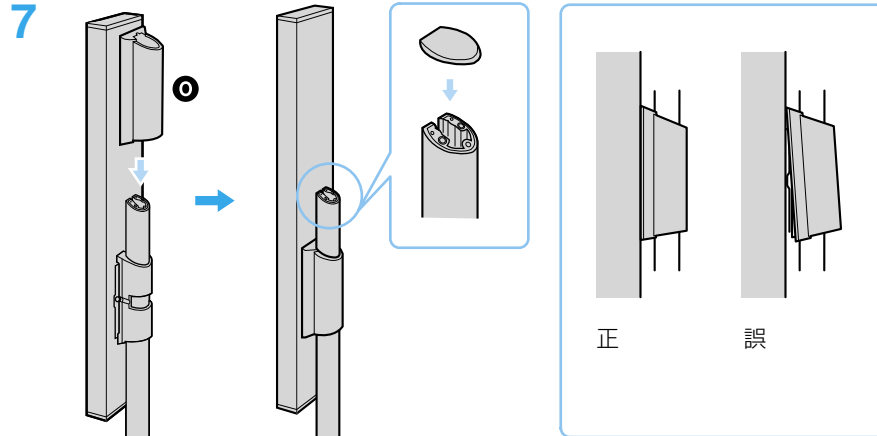
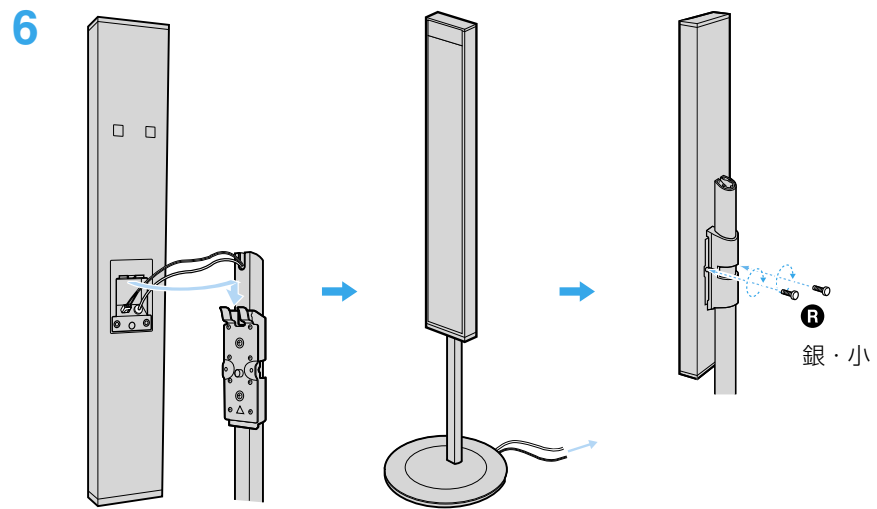
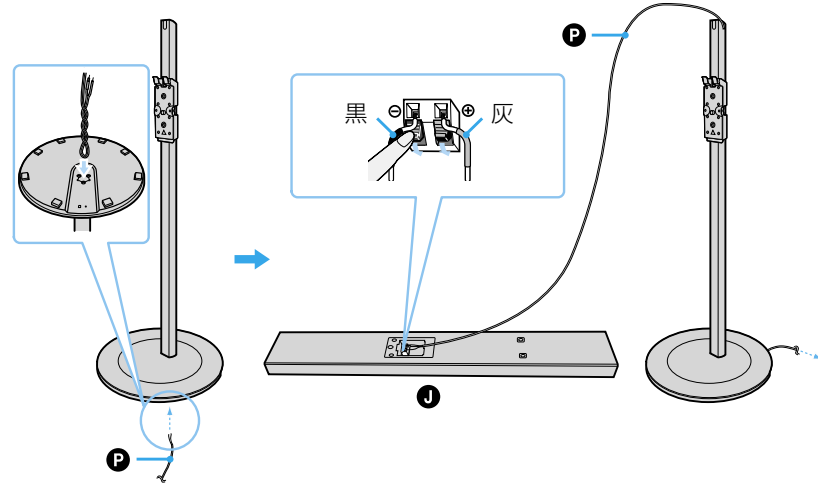
4 サラウンドスピーカー L (左) のみ



D フロントスピーカー、サラウンドスピーカーを組み立てる

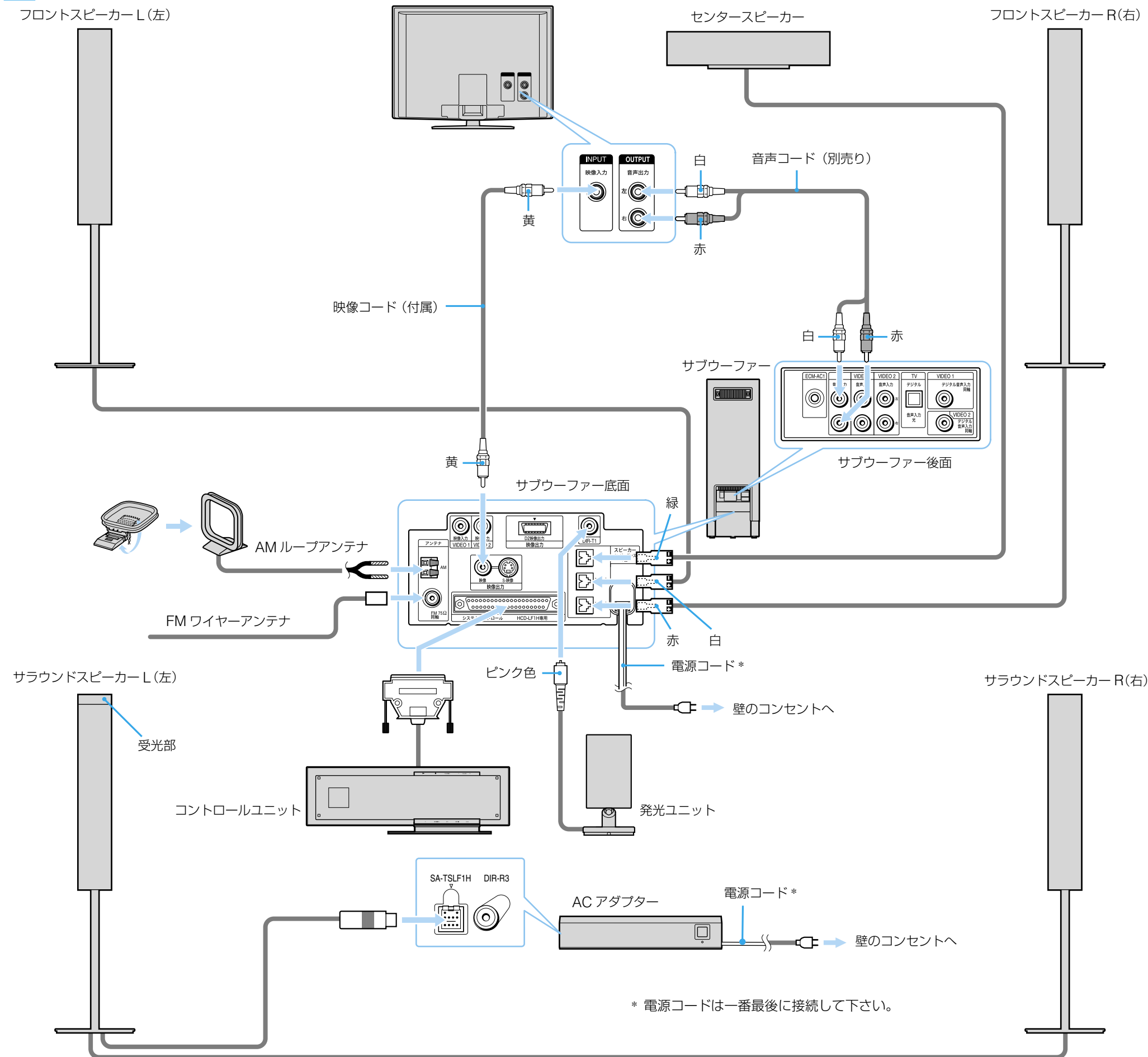
- あらかじめポストに取り付けられているネジは、スピーカー落下防止のためのネジです。はずさないでください。
- ネジ**A**をはずさないようにゆるめてからスピーカーアダプターを取り付けてネジを締めて固定してください。
Bに39cm加えた高さがスピーカー天面の高さになります。
 - 最下位置：**B** = 57cm、スピーカー天面の高さ：96cm
 - 最上位置：**B** = 91cm、スピーカー天面の高さ：130cm
- スピーカーコードのコネクターは、つなぐスピーカー端子のカラーラベルと同じ色になっています。（カラーラベルはスピーカーの後面に貼られています。）
フロントスピーカー L (左) / R (右) とサラウンドスピーカー R (右) の外観は同じです。各スピーカーの裏面のラベルで判別してください。
 - フロントスピーカー L (左)：白ラベル
 - フロントスピーカー R (右)：赤ラベル
 - サラウンドスピーカー R (右)：灰ラベル
 - サラウンドスピーカー L (左)：青ラベル

5 フロントスピーカー L (左) / R (右)、サラウンドスピーカー R (右) のみ

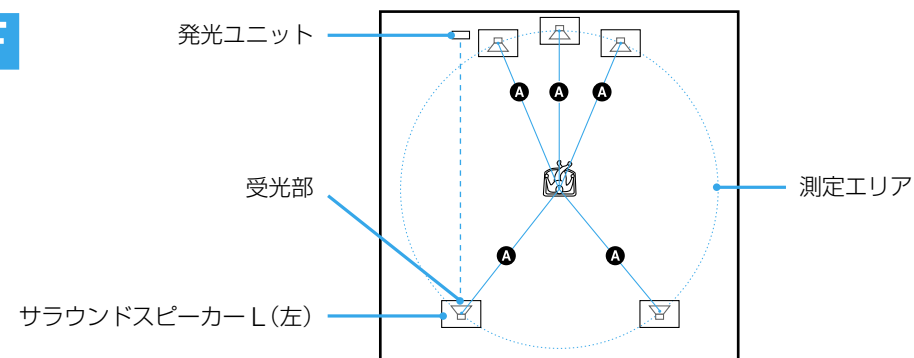


- スピーカーコードを先に通してから、スピーカーシステムコードをポストに通してください。スピーカーコードをポストに通すときは、10cm程折り返し、先をねじると通しやすくなります。
- スピーカーアダプターカバーは斜めに取り付けしないでください。

E



F



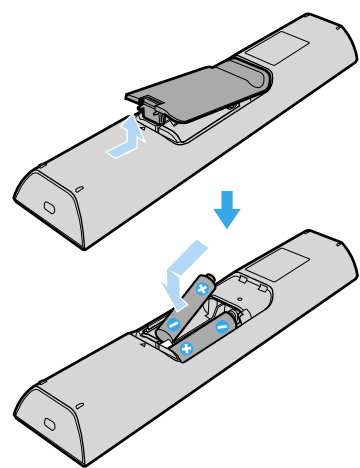
E 本機とテレビを接続する

基本的な接続をします。

F スピーカー、発光ユニット、受光部の位置を決める

スピーカーはリスニングポジションから0m～7mのところに設置してください(距離①)。また、発光ユニットとサラウンドスピーカーL(左)の受光部が一直線上に向かい合うように、それぞれを設置してください。

G



G リモコンに電池を入れる

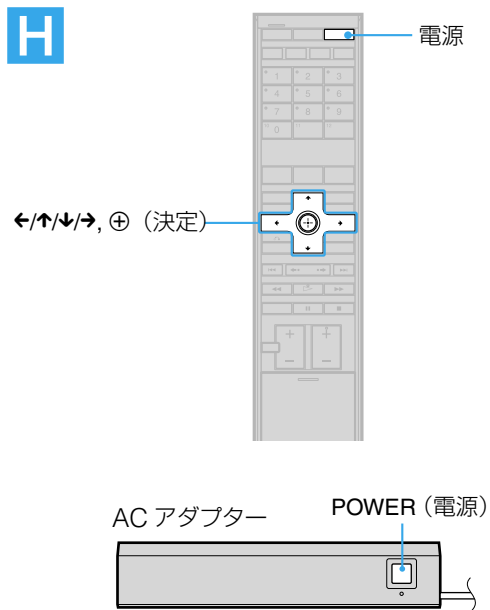
付属のリモコンで本機を操作できます。④と⑤の向きを合わせて、単3形乾電池(R6、付属)2個を入れてください。

本機を操作するときは、コントロールユニットのリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。

● ご注意

- 高温、多湿の場所を避けて保管してください。
- 乾電池を交換するときは、異物が入らないようにご注意ください。
- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - 新しい乾電池と使用途中の乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

H



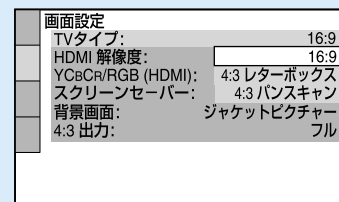
H クイック設定をする

- 1 テレビの電源を入れる。
- 2 リモコンの電源ボタンとACアダプターのPOWER(電源)ボタンを押す。本機の電源が入ります。

● ご注意

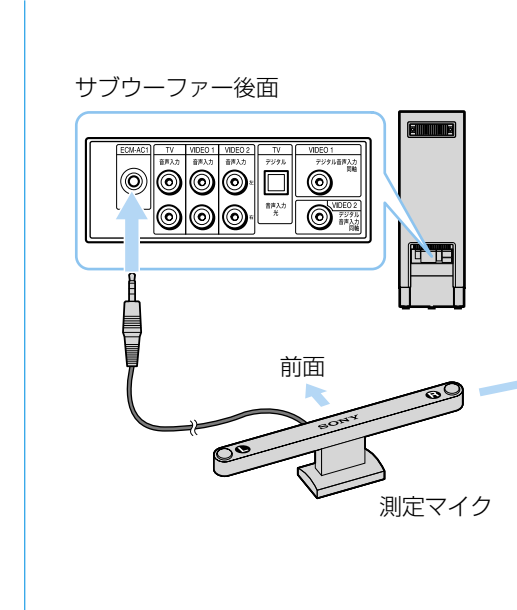
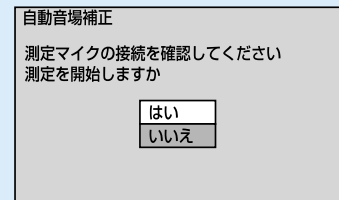
- コントロールユニットの表示窓に「DVD」が表示されます。「DVD」が表示されないときは、ファンクション+/–ボタンを繰り返し押しして「DVD」を表示させます。

- 3 本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。テレビの下部に[クイック設定するには「決定」を押してください]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されないときは、クイック設定画面を表示させて行ってください。詳しくは取扱説明書「クイック設定の画面を呼び出すには」(40ページ)をご覧ください。
- 4 ディスクを入れない状態で⑥(決定)を押す。つないだテレビの縦横比の設定画面がテレビに表示されます。



- 5 ↑/↓で本機に接続したテレビ画面の縦横比を選ぶ。
 - ワイドスクリーンタイプのテレビ、またはワイドスクリーンモードのある4:3スクリーンタイプのテレビをお使いのときは[16:9]を選びます。
 - 4:3スクリーンタイプのテレビをお使いのときは[4:3レターボックス]または[4:3パンスキャン]を選びます。

- 6 ⑥(決定)を押す。[自動音場補正]の開始画面が表示されます。



- 7 サブウーファー後面のECM-AC1端子に測定マイクをつなぎ、視聴する位置で耳と同じ高さになるように、市販の台や三脚を使って設置する。スピーカーとマイクの間に障害物などがないようにしてください。

● ご注意

- 測定マイクはしっかりと差し込んでください。
- 測定マイクの「FRONT」側が前面に向くように設置してください。
- 測定中は大きな測定音が出ます。音量は調整できません。お子様や隣近所への配慮をお願いします。
- ECM-AC1端子に付属品以外のマイクをつながないでください。

- 8 ↑/↓で[はい]を選び⑥(決定)を押す。[自動音場補正]が始まります。測定音以外の音が入らないように、静かな環境で測定してください。

● ご注意

- 測定中(約1分間)は測定の妨げにならないよう測定エリア(機器の設置エリア)の外側に出てください。
- サラウンドスピーカーから測定用の音が出されないときは、ワイヤレスシステムの調整を行ってください。詳しくは取扱説明書「ワイヤレスシステムの調整をする」(37ページ)をご覧ください。

- 9 測定マイクを抜き、↑/↓で[はい]を選び、⑥(決定)を押す。クイック設定は完了しました。すべての接続と設定作業は完了です。

測定が終了しました		
フロントL:	4.8m	0.0dB
フロントR:	4.8m	0.0dB
センター:	4.8m	+1.0dB
サブウーファー:	4.8m	+4.0dB
サラウンドL:	3.0m	-2.0dB
サラウンドR:	3.0m	-2.0dB
この測定結果でよい場合は測定マイクを抜いて「はい」を選択してください		
	はい	いいえ

● ご注意

- 壁や床の反響が測定に影響する場合があります。
- 測定が失敗したときは画面にしがたって[自動音場補正]を再度行ってください。

● ちょっと一言

- サラウンドスピーカーL(左)を右側に設置していた場合、アンプメニューの「SL SR REVERSE」設定は自動的に「ON」に設定されます。詳しくは取扱説明書「サラウンドスピーカーL(左)を右側に置くには」(120ページ)をご覧ください。